

防災ソリューション特集  
Special Issues  
Disaster Management Solution



ソリューション事業本部長  
五 島 周 一  
Shuichi Gotoh  
Executive of  
Solution Business  
Division

---

## JRC保有技術を融合し安全安心社会へ 貢献

### Contribute to Safe and Secure Society by fusing JRC's Possession Technologies

JRCは、長年に渡って主に官公庁殿や電力会社殿等に通信システムと防災システムを提供してまいりました。

平成18年4月防災関連事業を主に手掛けておりましたシステム機器事業部はソリューション事業本部として新たな体制を構築し、これまで培ってまいりましたお客様の要望に合わせたシステム構築ノウハウを活かし、より広い分野への技術提供を目指しております。

JRCにはソリューション事業本部の他、通信機器事業本部、海上機器事業本部、特機事業部があり、無線通信機器としてVHF業務用無線、UHF無線装置、マイクロ波通信装置、衛星通信装置、放送装置、会議場システム、同時通訳システム、レーダ装置、光通信装置と無線と通信に係る各種装置、テレメータ観測・監視システムやダム管理システムなど監視制御システム技術の一連の装置開発力とシステム構築技術力を有しております。

ソリューション事業本部は、これら日本無線保有装置・技術を融合し、防災事業、セキュリティ事業、地域・企業ネットワーク事業に展開しております。

現在、安全・安心な社会を実現するために、

情報・広報などソフト対策

防災情報の高度化

地域防災力向上

が求められており、JRCは無線をはじめとする幅広い技術を集結することでこれらの実現を目指しております。

今回の特集では、主に無線インフラを提供する防災無線システムと、防災に関する多種多様な情報を扱う防災情報システムについて、その納入事例をご説明し、防災ソリューションへの取り組みについてご紹介いたします。また、防災無線システムと防災情報システムの概要について以下にご説明いたします。

#### 1. 防災無線システム

我が国の災害対策の指針を定めた災害対策基本法に基づき、国・都道府県・市町村に設置される防災行政無線システムで、図1の系統で構成されています。

これらの無線システムは衛星通信回線、マイクロ多重無線回線およびVHF無線回線で構成され、固定系・同報系・移動系として運用されています。

現在、光通信網の整備が進み、無線通信もIP化して光通信

網との統合運用が図られています。

また、電波の有効利用のため、同報系・移動系はデジタル化へ移行しつつあり、消防救急無線もデジタル化への移行期限が決定しております。

今回の特集では、県防災無線システムのIP化、デジタル移動系システムおよびデジタル同報系システム等の納入事例を紹介しております。

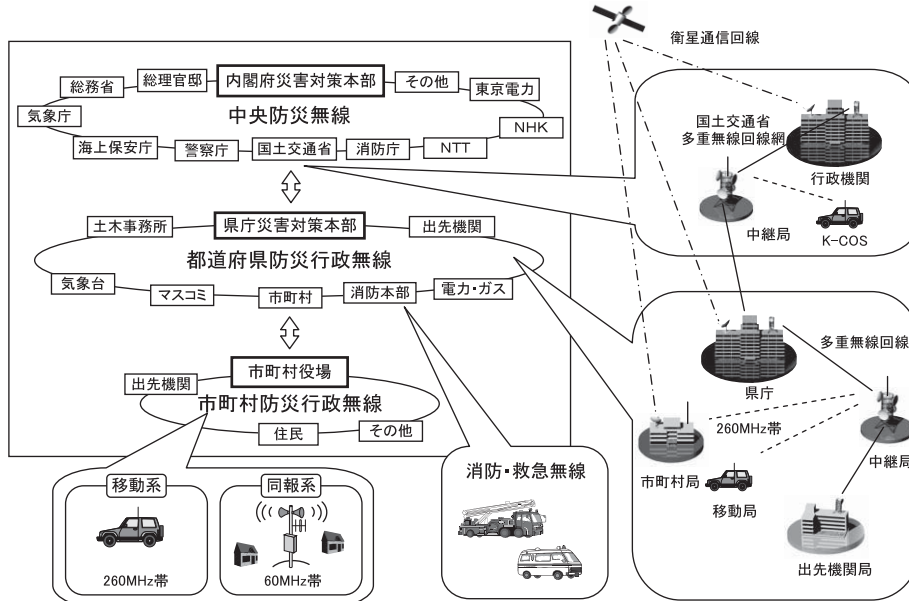


図1 防災無線システムの系統

Fig.1 Diagram of Disaster Management Radio System

2. 防災情報システム

当社の防災情報ソリューション事業では、河川、砂防、道路、気象、地震情報等の観測データ収集を目的としたテレメトリングシステムを始めとして、河川情報システム、ダム管理システム、砂防情報システム、道路情報システム等の土木防災行政上の各種サブシステムや、これらサブシステムの各種情報と現場からの被害情報等を統合共有した総合防災情報システムに至るまで幅広く防災に関する情報システムの構築・提供を行っております。(図2参照)

最近の中央防災会議で審議決定された国の防災対策では、

国民の安全・安心確保に向けて、自助・公助・共助による連携を防災活動の指針とし、防災情報伝達体制の整備と防災情報システムの整備を重点施策としております。

当社としても、このような国の防災対策の目標・指針・重点施策の考えに沿った防災ソリューションの提供を行なっていきたいと考えております。今回の特集では、その一部納入事例を紹介しております。図2を参考にその位置づけを確認していただければさらに理解が深まるものと考えます。

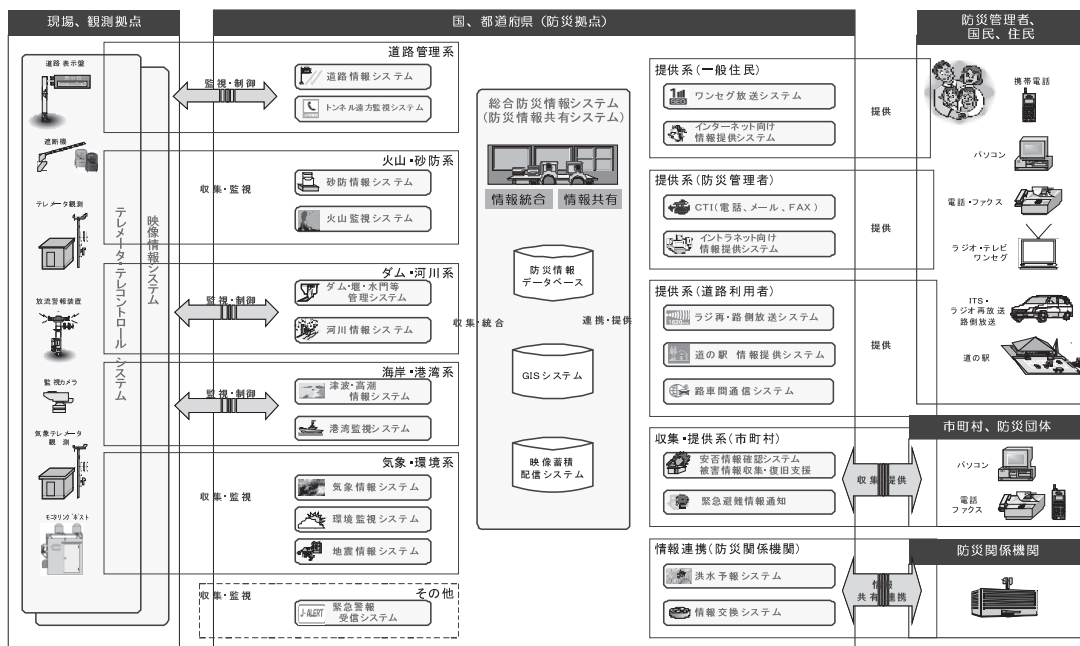


図2 防災情報システムの系統

Fig.2 Diagram of Disaster Management Information System